

中小企業のIT活用促進に向けた主体別取り組み・面的展開

資料3

- 中小企業者のIT活用を面的に促進する体制を強化するため、中小企業者がITを活用する際の気づき、導入、活用の3ステップについて、経営支援機関、ITベンダー、IT専門家のそれぞれが、以下の取組を進めることが重要。

中小企業者	ステップ1：「気づき」	ステップ2：「導入」	ステップ3：「活用」
経営支援機関	<p>① ICTに関する研修等の充実 経営指導員・土業専門家等のICTリテラシーを向上させ、IT専門家への橋渡し役を担えるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工会・商工会議所の経営指導員に向けたIT活用研修を実施。 ・中小企業大学校において経営支援機関向けの研修を実施。e-learning等の提供を検討。 <p>② 中小企業へのIT普及・展開 地域の中小企業がICTに触れる機会を増加。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域・業界単位でのミニ集会の開催。 ・中小企業者が来て見てITツールに触れる大規模なマッチングイベントの開催。 	<p>⑤ IT専門家への相談体制の強化 実際にITを導入したい事業者が、適切に導入計画を立てたり、セキュリティの相談ができる体制を構築。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工会・商工会議所とIT専門家によるIT導入支援体制の整備。 ・よろず支援拠点に配置している人手不足対応アドバイザーがIT導入も含めた生産性向上を支援。今後IT専門家の増員を検討。 ・損保のプラットフォームを活用する等、中小企業がセキュリティについて24時間相談できる窓口の創設を検討。 <p>⑥ ITツールの見える化推進、スマートSMEサポーターとの連携 スマートSMEサポーターの情報を整理し、中小企業にわかりやすく提供することなどにより、ITベンダー、ツールを紹介できる体制を整備。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業が使いやすいITツールや、ITツールを提供するスマートSMEサポーターを見える化するとともに、推奨する。 ・地域業界単位でのミニ集会、ITベンダーとの連絡会等の開催。 	<p>⑫ 経営改善のアドバイス継続 ITを活用して生産性向上を実現できるよう、中小企業を引き続き支援。</p> <p>また、スマートSMEサポーターとも連携し、中小企業の経営改善を支援。</p>
認定情報処理士支援機関	<p>③ 中小企業へのIT普及・展開 地域の中小企業がICTに触れる機会を増加。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業者が来て見てITツールに触れる大規模なマッチングイベントへの参加。(再掲) <p>④ 使いやすいITツールの開発 ITに必ずしも詳しくない中小企業でも使いやすいUIを有し、セキュリティも高いITツール(ソフトウェア、クラウド)の開発を推進。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートSMEサポーターが異分野事業者と連携したITツールの開発を支援。 ・研究開発税制を活用した、ITツール開発の支援。 ・スマートSMEサポーターが開発するITツールをセキュアで使いやすくするため日本政策金融公庫による融資制度を検討。 	<p>⑦ 中小企業とのマッチングの促進 使いやすいITツールを、幅広く中小企業に導入してもらうための取り組みを推進。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IT導入補助金の推進、スマートSMEサポーターによる代理申請。 ・中小企業の経営実態、経営支援機関との連携等に係る講習会を開催。 ・認定経営革新等支援機関の活動実態や優良事例等をウェブサイトに掲載することで情報をわかりやすく開示。 <p>⑧ セキュリティの高いITツールの推進 セキュリティ攻撃の脅威に備えるため、中小企業の取り組みを推進。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ITツールの導入を検討している中小企業に対し、サイバー保険の活用促進策を検討。 ・技術等の情報の漏洩防止のための認証制度の活用を推奨。 <p>⑨ 中小企業も活用可能なEDIを業種別・取引関係別に整備 中小企業向けの新規EDI開発や既存EDI拡張を通じて標準化・共通化を推進。</p>	<p>⑬ 中小企業に対するサポート継続 ITを導入した中小企業にサポートを継続。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IT補助金について、事業終了後の導入効果報告を要件化。 ・スマートSMEサポーターが中小企業によるIT導入後の効果を把握するための体制を拡充する費用に係る日本政策金融公庫による融資制度を検討。 <p>⑭ データの二次的利活用促進 ITサービスを通じて蓄積されるデータを仕組み・ルール化し、利活用の促進。</p>

中小企業者	ステップ1：「気づき」	ステップ2：「導入」	ステップ3：「活用」
IT 専 門 家		<p>⑩ <u>支援人材の育成</u> 中小企業のIT相談ができる人材を増加させる。 ・スマートものづくり応援隊を増員。 ・ITコーディネータなどIT専門人材の増員に向けた支援策を検討。（企業のOB人材の活用等）</p> <p>⑪ <u>中小企業へのアドバイス支援</u> 中小企業が支援人材によるアドバイスを受ける環境を整備する。 ・ミラサポによる年3回まで無料のIT専門家派遣。 ・IT導入を目的とした経営コンサル等に係る支援の検討。</p>	<p>⑮ <u>中小企業へのアドバイス支援</u> 中小企業が支援人材によるアドバイスを受ける環境を整備する。 ・ミラサポによる年3回まで無料のIT専門家派遣。（再掲） ・IT導入を目的とした経営コンサル等に係る支援の検討。（再掲）</p>

支援機関を支援する機能を中小機構・IPAに一元化することで、情報を集約して支援体制を強化

機 構 の 能 力	<p>⑯ <u>優良事例の収集・展開</u> 補助金等で支援してきた中小企業の成果事例を一元的に収集し、製造業/サービス業、地域別、規模別等で分類できるようにすることで、身近な中小企業の事例に触れられる環境を作る。 <サービス業等> ・IT導入補助金の活用事例等を収集、支援機関向けに情報発信。 ・IT活用等に関する支援機関向けの研修コンテンツを作成・配信。 <製造業等> ・ものづくり応援隊等による支援を通じ蓄積されたIoT化、業務プロセス改善等のノウハウ、成功事例を収集し、情報発信をする。 ・IT導入による業務プロセス改善等のノウハウ、成功事例を収集し、情報発信をする。</p> <p>⑰ <u>中小企業経営に関する情報提供</u> ・スマートSMEサポーターへの専門家の派遣その他情報提供を行う。</p>
-----------------------	--

対 策	<p>⑱ <u>セキュリティに関する情報提供</u> サイバーセキュリティを高めるため、支援機関等に対する情報提供や普及啓発を実施。 ・IPAから、スマートSMEサポーター等向けに、サイバーセキュリティに関する講師派遣を実施。 ・IPAから、スマートSMEサポーターに向けて、脆弱性等のサイバーセキュリティに関する情報を発信。 ・技術等の情報漏洩に関する認証制度の普及啓発。取得促進。</p>
--------	--

※上記については、今後施策具体化に向け検討。